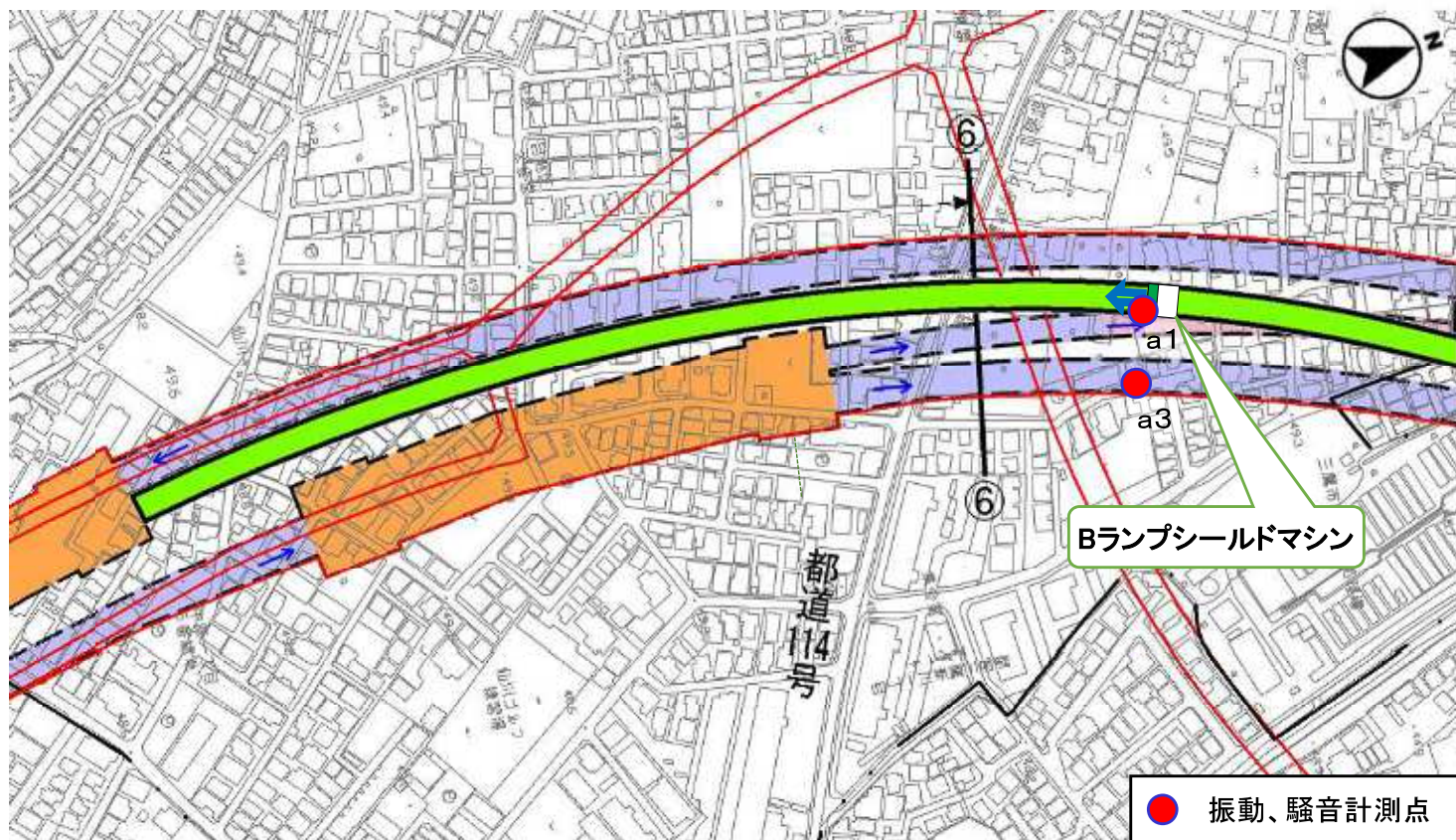




東京外かく環状道路 中央JCT 南側Bランプシールドトンネル工事
振動・騒音計測結果のお知らせ

【1月16日(金) シールドマシン位置図】



【1月16日(金) 7:30~17:00 振動・騒音計測結果(確定値)】

	a1		a3	
	停止中 最大	掘進中 最大	停止中 最大	掘進中 最大
振動レベル L ₁₀ (dB)	35	35	32	36
騒音レベル L _{A5} (dB)	58	62	52	57
低周波レベル L ₅₀ (dB)	65	65		
低周波レベル L _{G5} (dB)	69	69		

※ 振動レベル、騒音レベル、低周波レベルの測定はシールドマシン通過時にその直上付近で実施しています。

計測点はシールドマシン中心および影響範囲端部を基本とし、事業用地や公道などで実施しています。

※ 上表は、特異値(例: 大型車両通過に伴う振動、緊急車両サイレンなど)を除外した数値を示しています。

【振動レベルL₁₀】 振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値をL₁₀と表します。

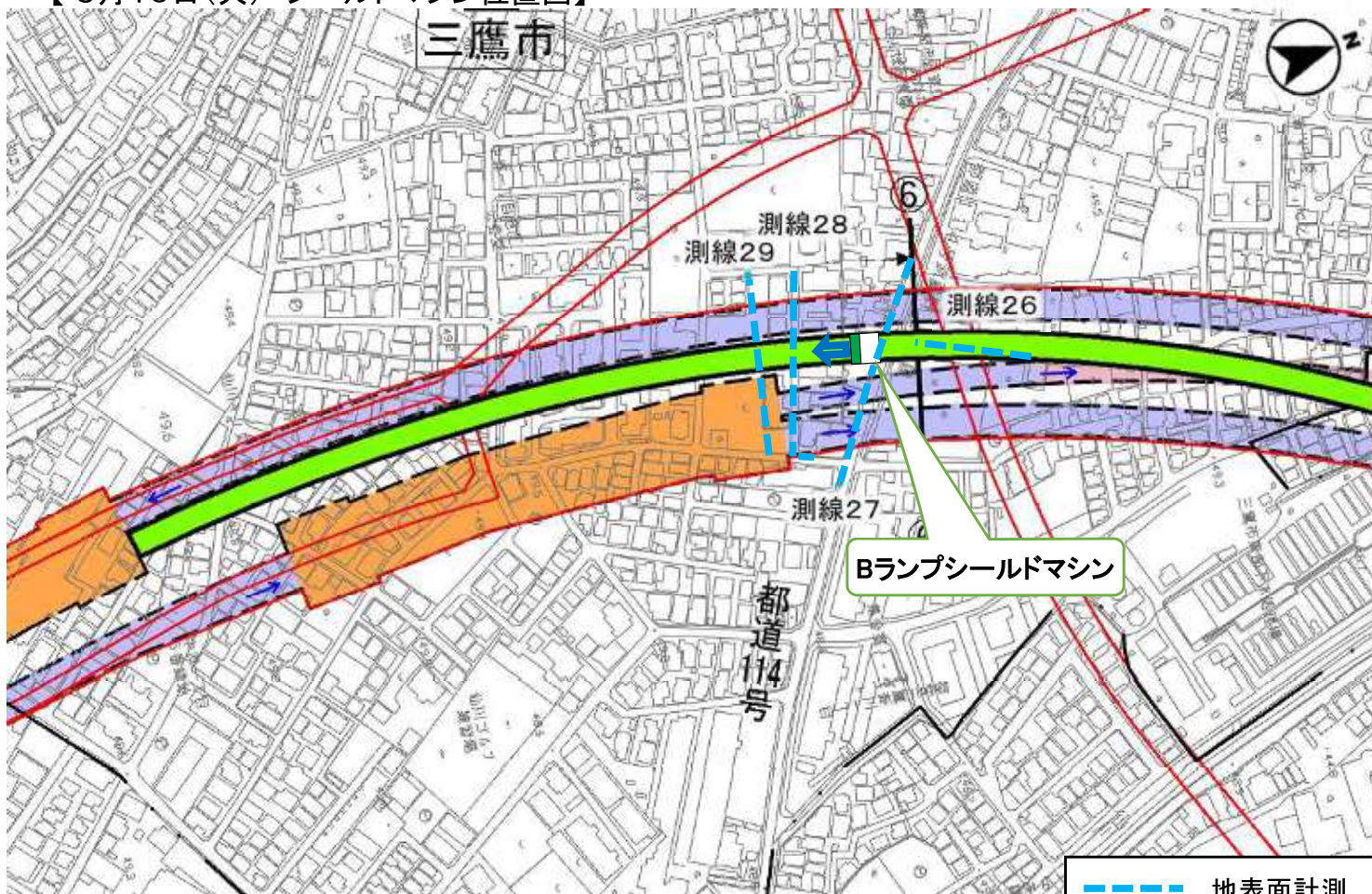
【騒音レベルL_{A5}】 騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値をL_{A5}と表します。

【低周波レベルL₅₀】 1~80Hzの周波数範囲内をある時間測定したとき、全測定値の中央値をL₅₀と表します。

【低周波レベルL_{G5}】 1~20Hzの周波数範囲内をある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値をL_{G5}と表します。

B 東京外かく環状道路 中央JCT 南側Bランプシールドトンネル工事
 地表面計測結果のお知らせ

【3月10日(火) シールドマシン位置図】



【3月10日(火) 地表面変位計測結果】

測線	基準日	最大傾斜角 (rad)	最大鉛直変位 (mm)
測線26	令和8年 1月 7日	0.2/1,000	+5
測線27	令和8年 1月26日	0.4/1,000	-4
測線28	令和8年 2月12日	0.2/1,000	-3
測線29	令和8年 3月 3日	0.0/1,000	-1

※最大傾斜角は、計測地点間の傾斜角の最大値を示しています

沈下量 δ

幅 L

$1/1,000\text{rad}$ (ラジアン) \approx 約0.057度
幅Lに対して1%沈下した場合の傾斜角

※家屋に影響を与えない地盤変位の目安は、地表面傾斜角
 $1/1,000\text{ rad}$ 以下となります。
 「建築学会小規模建築物基礎設計の手引き1988年」の
 記載を参考に設定しています。